

## 第四部 気になる噂の紙上相談会

第三部に引き続き、座談会風に内定者のナマの声をお届けします。総合職に関する噂にまつわる実体験が満載です！掲載している情報はあくまで内定者の主観に基づくものである旨、ご留意下さい。

### -----噂その1 説明会参加やOB訪問は必須？-----

#### 【説明会は行くべきだと思いますか。】

- 隠れ眼鏡** 参加推奨。各省の業務内容を知るのみならず、直接質問をして先輩職員のナマの声を聴くことができる。特に、環境省の場合は懇親会で気軽に省の雰囲気に触れることができる。採用担当者と話して不安な事を相談できる。出て悪いことなしですよ！
- みずパン** 面接官によっては、面接で説明会に参加したか聞かれることもあったんで、行っておいたほうが熱意が伝わりやすいと思う。「1回です！」って答えた時は、空気が凍りました^^；
- なめこ** そりゃ凍るねw 説明会は時間がとれるなら参加しておいた方がよいって感じなのかなー。ただ環境省の場合、参加回数自体はそこまで重要視してなさそうな感じはした。
- 鯛** 行った方がいいと思ったなー。私は回数とか聞かれなかったけど、面接とかで運よく説明会の職員さんに当たれるとホッとする(笑)。職員さんのお話面白いし、目指してる学生さんとの出会いが刺激にも支えにもなったかな。
- (T\_T)** 話は分かっているに越したことはないからねー。自分も説明会で話した方に、『ん、どこで会ったっけ？』って言ってもらえたし。まあ、何も知らずに3日目に飛び込んできて、何かがかみ合ってそのまま最後まで来ちゃうケースもあるみたいやけど、少なくともここを見ているくらいにそもそもの興味がある人ならば、ね。
- マービー** ↑Me too.説明会で一番前の席に座って、質問したら印象に残ったみたいでした。でも、何より環境省の業務に対する理解が深まるし、後で必ず役に立つと思うから、参加することをおススメします。
- あやち** 参加推奨！！私、人事担当のお二人に覚えられていたようです。やはり、説明会などで良い意味で目立てば、説明している側にも顔が売れると思います。緊張する官庁訪問中に説明会で話したことある人がいるだけで気持ちが少しラクになりますし。
- うなぎちゃん** それは思った！知ってる方がいると心強い！そして何より、覚えてくださってることが嬉しくて、頑張ろう！って気持ちにもなれた^^
- たくお** 是非参加すべきだと思います。環境省の職員の方に直接お話を伺うことで業務への理解を深められるし、職員の方に顔を覚えていただけるし。覚えていてもらえるとやっぱり嬉しいし、本番でも声をかけてもらえるから緊張がほぐれます。首都圏であれば特に、霞ヶ関 OPEN、サマートライアルはオススメ。省內に入れるのでより近い場所で内部の雰囲気が感じられます。
- ピペット** 環境省は霞ヶ関 OPEN 前夜祭ってのもやってて、私はそれに参加しました。アットホームな雰囲気でのろんな職員の方とお話しできたのでおすすめです。
- むら** 知り合いが増える、面接に向けてしっかり準備できて有利というだけでなく、「なぜ環境省に入りたいか」という問いに対する答えを突き詰めるために、環境省の理解を深めることは大事です。理解が進むと新たな疑問が出てくるので、複数回参加できるならした方が良いでしょう。事前予約が必要な会もあるので、早めにHPでチェックしておくのが良いでしょう。

**【OB 訪問はするべきでしょうか】**

**マービー** 私の大学の OB は環境省にいないので...ですが、できることはした方が良いと思いますよ。マイナスになることは何も無いですし、説明会では知ることができなかつたもっと詳しい情報を知ることができるかも知れませんしね（想像ですが）。

**あやち** できるなら、したほうが良いと思います！！私は OG 訪問 1 回に加えて、説明会に来ていた先輩 2 人とお会いしました。OG 訪問のときには若干面接みたいな感じになってしまっていて、そこで自分の志望動機の詰め甘さをつきつけられました。終わった後、トイレで泣きました（笑）でもそれによってもっとがんばらなきゃだめだという風に思えましたし、官庁訪問で何が大事なのかを事前に知ることができました！説明会に来ていたお二人には本当によくしてもらいました。相談して、志望動機や自己 PR のアドバイスをもらったりもしました。

**うなぎちゃん** できることならすべきだと思います。てか、（あやち）そんな大変な OG 訪問だったの！？少なくとも私は、（あやち）みたいな感じじゃなく、フランクにお話させて頂けましたし、環境省への興味が深まって本当に楽しかったです！パンフレットや説明会での全体説明ではわからないことも多いし、何より、「自分の気になること」を重点的に質問できるので大変オススメです。他省との比較や私生活などのぶっちゃけ話？も何うことができ、職員さんの雰囲気をつかめるという意味でも良いと思います！

**なめこ** 必須ではないけど、した方が深く学べて色々ためになると思う！自分も（うなぎちゃん）と同じく結構楽しく会話させていただいたし、環境省への興味や理解が深まりました。

**たくお** できるならした方が良いです。一対一だと気兼ねなく自分の関心事について話せるし、何より、志望の強さを存分にアピールできます。

**ピペット** 私は勇気がなくてできなかったのですが、できるならした方が良いと思います！説明会とかで聞いた話と、実際に官庁訪問して職員の方から聞いた話には結構違うところがあるなあという印象だったので、官庁訪問前に 1 対 1 で職員の方に話を聞けるのはすごくためになるんじゃないかと思いました。

**むら** 可能ならすべきだと思います。説明会で聞きづらいことも聞きやすく、1 対 1 で話す練習にもなるでしょう。ただ、しなかったからといって不利になることはないと思います。

**【訪問した場合はどのようにアプローチしましたか、また訪問の雰囲気はいかがでしたか。】**

**なめこ** 説明会のレジメの連絡先からアプローチ。自分が出た説明会的时候は、説明会の資料に「OB 訪問受け付けています」といった文言と共に連絡先が記載されていたので、そこにメールをして、あとは職員の方が OB の紹介も含め訪問のセッティングをして下さった。民間企業みたいに大学の就職課行って名簿探して...とかやらなくて済んだのでとてもスムーズだった。

**みずパン** ↑やっぱり東京に行かなきゃいけないの？

**なめこ** ↑本省のレストラン（26F）でやってみました。自分が東京に行く用事に合わせて調整してくださったのであんまり不都合はなかったような。

**みずパン** ↑仕方ないとはいえ、地方民には少しハードル高いねー。

**なめこ** ↑東京に出るのちょっと疲れるもんね。地方での説明会には地方事務所から来る場合もあるみたいだから、説明会でコンタクトして、職員の話聞く機会など調整してもらえば、地方在住者でも気軽に訪問しやすいかもしれない。

**鯛** 私も説明会でたまたま研究室の大先輩にお会いしたから、京都にいらっしゃった時とか私が東京行ったときにお話伺ったよ。お仕事の話も面白かったし、なによりモチベーションあがった気がする！確かに地方在住者にとって OB 訪問はハードル高いよね(。;)OB 訪問の時は何人くらいの職員さんとお話できるの？

**なめこ** 若手 OB の方おひとりと 1 対 1 で 2～3 時間くらい話したよ。自分の興味ある課の方だったので、かなり突っ込んだ話もプライベートな話も色々聞けた。その後は省の中を案内していただけて、職場の様子や雰囲気とかも把握できたし個人的にはかなりためになった！

**鯛** 一対一でそんなにお話して職場も案内してもらえるんだ、それめっちゃいいねー！OB さんなら相談しやすいし、そういう関係を作れるのは OB 訪問の魅力だね！

**(T\_T)** なんか見てると、知らない人にアタックするのもおもしろそうやったんやね。自分は元来知り合いやった人に頼んだので。

**うなぎちゃん** あなたのやりたいことって環境省でできるんじゃない？まずは話をきいてみなよっと大学の先生が提案してくださり、お知り合いを紹介してくださいました笑 本当に感謝してます！！若い年次の方にも話を聞きたかったので、他省の先輩のご友人を紹介してもらったりしました。少し年次の進んだ方に業務内容や省としての役割などを伺って、若手の方に官庁訪問の乗り切り方を聞く、という具合に質問を分けてました。それにしても、省の中案内、っていうのは羨ましい！

**あやち** さっきの欄とかぶりますが、私は OG 訪問でおひとり、それから説明会に来ていた先輩おふたりとお会いしました。紹介は、たまたま大学に説明に来ていた東京都職員の方にしてもらいました。環境省を考えていると言ったら、知り合いがいるから紹介しようか？と言ってくださったので。新宿駅のカフェみたいところで OG の方（何年目か知らないですが...15 年くらい？）、紹介してくださった東京都の方（この方も OB です）、私で 30 分ほど。オーラに圧倒されっぱなしで、自分の未熟さを痛感して泣きました...。OG の方はそのあと用事があり、すぐに帰られました。東京都の方がどういう苦勞をなさったか、身内だから聞ける話？をしてくださってよかったです。

**たくお** 若手の職員の方をご紹介いただいて、霞ヶ関近くのレストランでお話を伺う形での訪問でした。首都圏だから良かったけど、皆が書いているように地方だと大変かも…。雰囲気は和やかで、お忙しい中で丁寧に御対応をいただけて感銘を受けました。主に業務内容についての質問をさせていただきましたが、大学の専攻が近い方だったので、研究が活かせるシーンはあるか、といった、コアな質問もできました。ただ、お伺いしたいことが多すぎて、質問攻めにしてしまったような気が…。志望動機、聞きたい事などはしっかり考えていくに越した事はないけれど、会話を楽しむ余裕もあると良いと思います。

### 【民間企業や他の公務員との併願をしましたか。】

**タマ** 民間企業数社と地方上級を併願していたよ。就職活動はとても疲れた。

**なめこ** 自分は他の公務員は受けてなくて、民間企業と併願してたパターン。一次試験前の3～4月が入社試験ラッシュだったので結構しんどかった

**鯛** 私も民間数社と地元の公務員を受けてた！みんな民間企業の面接のときは国家公務員試験のことだったの？

**なめこ** 言ってないね(笑)。ただ説明会の時点で国総と迷ってるんだけど云々の相談はよくしてた。

**タマ** 聞かれた企業には正直に答えてたよ～。伝えて良かったことは特になかった(笑)。

**鯛** うん、いいことはないね(笑)。国総受ける人の話聞いて思ったけど、結構匂わせてる人多いよね！内々定承諾待ってもらったり。

**(T\_T)** 自分も民間受けてたけど、4月上旬に片付いてたし、官庁訪問の時期に迷うような事態にはならなかったから。

**みずパン** 併願先の志望理由を一つ一つ聞かれて環境省の理由と比べられることが多々あったから、可能な限り併願先の理由に一貫性はあったほうが環境省の志望理由も説得力が増すかも…。

**たくお** 民間企業は併願していました。他の公務員の併願はありませんでした。環境省が第一志望だと言っていたこと、志望動機が一貫していたことから、民間と併願していることについては特にコメントされなかったです。

**あやち** もともと大学院に進むつもりだったので、併願は大学院のみです。最初院に行くか迷ってるところをすごおおおおお気にされました。最終的にもう環境省に行きます、と行ってからはそこまで問題にされませんでした。

**マービー** 埼玉県の公務員試験を受験していましたが、どこの組織も第一志望はどこかと、やはり気にされている様子でした。

**むら** 民間や他の公務員との併願はしませんでした。省庁一本だったので、他の皆さんよりだいぶ就職活動は楽だったようです。

## -----噂その二 学歴・語学力・ボランティア歴が評価に影響するらしい??-----

## 【学歴(学部卒か修士卒か)・席次・大学名は内定に影響すると思いますか。】

うなぎちゃん 席次や大学名を考慮された感じはなかったです。ただ私の場合、伸びしろがあるという点で学部卒だという点はポイントになったかも。

鯛 どっちも関係ないんじゃないかな？面接の回数も多いし、人事の方が「単なる知識の量などは求めてません」っておっしゃってたし。

みずパン どっちもだめな人もいるので、ほとんど関係ないんじゃないかな（ドヤァ）。 もちろん、しっかりと結果を出してきている人のことはきちんと評価してくれると思うので、参考にしないでほしいけど(笑)。

むら 環境省は多様性を求めているようなので、さほど影響はないと思います。私は留年・休学などで院の在籍期間が長かったのですが、そういう状況でもしっかりと納得できる理由があれば不利にはならなかったようです。

(T\_T) 全部、推測の域は出ないし、結果論でしかないのかもしれないけど、12人の多様性はある気がするよね。大学なり、学卒、院卒なり、専門分野なり。知識が評価された人もいろうし、「私は何も知らないから、何にでも染まれるのが強み!!」とか豪語されてた方(↑↑)もいらっしやいましたけど、それも確かにあるんじゃないかなあと思った。その方が学卒であるのは、偶然なのか必然なのかは、これまたわからんわけですが。

## 【英語力は評価につながるとと思いますか。】

鯛 つなげないでください!(;´・ë・`;) )

あやち つなげないでください!!!! (切実)

むら 英語力がないからというだけで落ちることはないようです (TOEIC 点数最底辺からのコメント)。

隠れ眼鏡 内定に直結というわけではないけれど、あるに越したことはない、という感じかな?自分の場合は留学の話をよくしていたから、留学先の経験と志望動機を結びつけて話した上で語学力も一応あります、というアピールになったかも。

(T\_T) 少なくとも、決まってから、そして入ってから、語学方面を努力する“気概があるか”は評価につながるのかなと思いました...(笑)。

あやち アレルギーレベルで嫌いじゃなきゃ大丈夫って言われました。あと、入ってからやればいい、とも。正直仕事で使う英語だけでできればいいし、それは仕事以外では学べないっておっしゃっていましたよ。

うなぎちゃん そういえば人事院面接で、TOEICはどうやって勉強したんですか?と聞かれたり、英語力は何のために必要だと思う??とか突っ込まれたりしましたよ~あるに越したことはないんじゃないかな(笑)。

隠れ眼鏡 英語の勉強方法について、同じ事訊かれたよ。ちなみに民間の面接でも訊かれたんだけど、そっちは語学みたいに継続的な努力が必要な分野に取り組めるか、どうやって取り組むのか、ってことを

訊きたかったみたい。だから、試験の実績があると直接的なスキルとしてだけでなく努力家指数が上がるかも。

**【環境系の活動に参加した経験があった方が良いと思いますか。】**

**隠れ眼鏡** 私は海外の国立公園でインターンシップをしたことがあったから、結構仕事内容とか日本との違いとか(日本の国立公園について知らなくて困ったけど)面接で訊かれました。志望動機の裏付けになった感じかな。他に環境系のボランティアとかサークルやってた人っている？

**(T\_T)** 修士から入った学生団体がまさに環境とか国際とかいう系だったので、官庁訪問中もよく話したし、やっていて良かったなあ、とは思った！でもやっぱり、そういう部分が評価される人もいれば、そうでない人もたくさんというイメージやね。ただ、そこで何を思ったかとか、自分の考え方にどう影響を及ぼしたか、これからどう活かせるか等々を話せなかったり、経験として通り過ぎただけみたいになっちゃうとむしろ逆効果な気がする。

**隠れ眼鏡** それ大事！参加した、ってだけじゃなくて、「経験を自分の成長につなげられたかどうか」から伸びしろをみられていると思う。採用する、ってことは成長可能性に投資する、ってことでしょ？

**うなぎちゃん** 全然違うインターンとかボランティアとかの経験があるんだけど、なんでそもそもそれに参加したの？とかすごく聞かれて焦った(笑)。だから環境系の活動経験がある人が羨ましかった！でも、興味の幅を広くもって何にでも積極的に取り組むことができる的アピールにもなったので、ちゃんと自分の意図を説明できればなんでも OK なんだと思った！

**たくお** 環境系の活動は参加したことがあったから面接カードには記入したけれど、特にそれが評価に繋がっているとはあまり感じなかったです。皆が言っている通り、「なぜその活動に参加したか？」「その活動を通じて何を学んだか？」が言えれば、環境系の活動であるか否かは関係ない気がします。

**むら** 学部時代に環境・エネルギー系の学生団体に所属していました。どの活動でもそこで何をやって何を学んだかが答えられれば問題ないと思いますが、環境系の活動に参加していると環境省の業務の理解の助けになるので、発言の説得力に繋がると感じます。参加した経験があった方が良いのは確かでしょう。

-----噂その三 省庁ごとに面接の形態や職員さんの気質が異なるらしい???-----

【説明会・官庁訪問を通して感じた他の省庁のイメージは?】

**みずパン** あんまり他省を回らなかったんで、他の省の雰囲気ってすごい気になる！

**うなぎちゃん** 大きい省庁だと、面接数回と希望(と評価)に応じて原課って感じだった～大きくても団結感があってすごく暖かい雰囲気でした！別の省庁では、ブース面接や原課の感想を聞かれたり、待ち合い室もずっと議論してたりして、すごく成長できる場だと感じた！

**鯛** 確かに省庁でだいぶ雰囲気変わるよね！私の行った省庁は、原課訪問は1時間くらい丁寧に業務説明してくださった！なんか仕事の話をしごく楽しそうにするから、かっこいいな～って思ったよ！

**隠れ眼鏡** ほとんどブース面接しか無かったから、自分の評価が全く分からず不安だった省庁もありました。でも職員さんは雰囲気ほんわか&芯はしっかりしているイメージ。

**(T\_T)** 言っても、他2つしかまわってないわけやけど、とにかく帰りが遅かった(笑)。待合室でも色んな人が来て話してくれるし(逆にそれがないと退屈を売っても余りあるレベル)、原課にいった盛り上がり、気づいたら2時間経っていたとかあったなあ。んで、そこからさらに面接とブース相談、とまあ朝からフル回転な感じ。面接とかでは細かい理屈とかを詰められて、意地でも全部言い返すみたいな感じやったけど、2クールが一番最後にデレられたのはちょっとキュンとしたかな(笑)。あと、3日目にいった省庁では自分以外は事務系しかいなかったけど、関係なく扱ってくれたし、3日目でも全然ウェルカムで、ただただ優秀であれば取る、という感じがした。穏やかな感じは受けたけど、突っ込みは流石鋭くてヒヤヒヤさせられました。

**タマ** 自分のまわった省庁は、第一クール三日目からの参加で人数が少なかったから時間的な拘束は無かった(笑)。3つまわった中で面接の内容が一番きつかったかな(苦笑)。甘い考えに容赦ない突っ込みを入れてくれたのは成長できる良いきっかけになった。

**たくお** いくつかの省庁の説明会に参加したが、どの省庁も非常に魅力的でした。ただ、それぞれの省庁に明瞭なカラーが存在しているため、自分のカラーとその省のカラーが合うかどうか、というところが一番大事だと感じました。官庁訪問では他の省庁にも伺ったのですが、環境省への熱い思いを長々と語ってしまい、即座に選考落ちでした(笑)。

**むら** 1日の途中でも切られると帰される省庁もあるので、精神的に大変です(笑)。

**ピペット** 私も省庁ごとのカラーの違いはすごく感じたので、いろいろ見て比べるのは大事だと思います。

**【他省と比べると環境省って...(良いところも悪いところも)?】**

**うなぎちゃん** 小さい！その分、職員さん同士の距離が近いよね！いわゆる「風通しが良い」イメージ。あと、すごく若手のうちにまかされる裁量が大きい印象です。

**隠れ眼鏡** 確かに。官庁訪問で面接が進んでくると、「今までどんな人に話聞いてきた？」って訊かれる事が度々あって、答えると「ああ、〇〇さんね」って反応をされました。小さい省だからこそお互いを良く知っていて、団結力があるんだろうな。若手にもそのネットワークの中で仕事を任せてくれるんだと思うと頑張れそう。

**(T\_T)** 確かに組織が小さくて、トップとの距離が近い。平の係員が他省の補佐とミーティングとかもあるそうで、早くから責任をもたせてくれるというところがあるらしい。もちろん、逆を返せば色々な力が小さいということでもあるから、どちらを良しとするかですね。あと、所管する利益団体とかがないというのがまた特徴かな。それがああるメリット、デメリットもご想像に容易いかと思いますが。まあそれもどちらを良しとするかですね。

**たくお** 小さい、所管する利益団体が無い、以外であれば、前例が少ない仕事が多い、というのも特徴かも。除染や地球規模の環境問題のように、これまで誰も直面した事のない課題について仕事ができるのは、環境省の大きな魅力のひとつだと思います。あと、理系的な視点が特に活かせる場所ということ。環境課題は「どの程度の基準値でどの程度の被害になるのか」という、科学的な分析に基づいた定量的な判断が必須になってくるものが多いので、理系が活躍できる場面が特に多いと思います。それに実際、省庁多しと言えど事務系と技術系がこんなに垣根なく活躍している省は少ない気がします。

**むら** 良くも悪くも、“小さい”“利益団体が無い”“成長し続ける”という点。“小さい”というのは、風通しが良いのと同時に、若手でも責任ある仕事が任せられます。“利益団体が無い”というのは、特定の業界の意見を優先せずに環境のためになることを果敢に行えます。ただ、このデメリットというわけではないかもしれませんが、サービスを受ける個人との距離が遠い、という話は伺いました。“成長し続ける”というのは、環境省は当初は公害対策が仕事でしたが、地球温暖化対策が加わり、今では福島復興が最重要課題のひとつとなっています。伝統があり業務が決まっている省庁と違い、常に新しい問題に立ち向かうのが環境省です。それに伴い、人数、予算規模、使える政策ツールも増えていくので、“ベンチャー企業のような”という話を伺ったこともあります。伝統にとらわれない一方で、誰も知らない仕事を開拓していく必要があるのが他省庁との大きな違いのひとつだと思います。

**みずパン** みんなすごくためになることを書いてくれているので、環境省志望の人はこのページを3回は読んでね！（笑）

**-----皆さん、噂に惑わされず自ら考えて進路を選択されたのですね-----**

いかがでしたか？

第三部と第四部では、内定者の官庁訪問や就職活動の実体験をお届けしました。

悩みや苦労が多々あったからこそ、納得して志望を固め、内定につながったという事が伝わったでしょうか。

座談会の最後までお付き合いいただいた皆様ならば、総合職受験や官庁訪問への熱意は十分なはず。

国家行政に携わってみたいという方！健闘を祈ります！